

平成 27 年 1 月 26 日
株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

「若手経営者」は外部資源を積極的に活用、事業拡大・多角化意欲も旺盛

～「経営者の事業方針に関するアンケート」調査結果の概要～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）総合研究所は、中小企業の経営状況や経営課題、経営者の事業に対する考え方等を探るため、「経営者の事業方針に関するアンケート」を実施しました。アンケート回答企業の経営者（平均年齢 57.9 歳）に対して、「経営者として最も能力を発揮できる年齢」をたずねたところ、平均は 44.4 歳となりました。そこで、本概要ではその年齢に至るまでの 44 歳以下を「若手経営者」、45 歳以上を「中高年経営者」と定義し、両者の比較から「若手経営者」の特徴を紹介します。

<主な調査結果>

「中高年経営者」と比べた「若手経営者」の特徴は以下のとおり。

1 経営する企業の業績は良好（本文 5～6 ページ）

44 歳以下の「若手経営者」が経営する企業では、現在の「売り上げ」「利益額」「従業員数」いずれの項目も「増加傾向」と回答した企業の割合が「減少傾向」を上回った。

2 外部資源を積極的に活用（本文 9～11 ページ）

「若手経営者」は「取引先」「専門家（税理士、司法書士等）」「同業種の経営者・組合」など、多くの外部機関等から経営に必要な情報を収集したり、経営の相談をしたりしている。また SNS の活用にも積極的である。

3 事業拡大・多角化意欲が強い（本文 14 ページ）

「若手経営者」の 6 割超が今後も事業を「拡大したい」としている。また 7 割超が事業の多角化を「実施したい」としており、「若手経営者」の旺盛な事業拡大・多角化意欲がうかがえる。

<調査の要領>

- ・調査時点：2014 年 7 月
- ・調査対象：創業後 5 年以上の中小企業 12,000 社
- ・調査方法：調査票の送付・回収ともに郵送、アンケートは無記名
- ・回収数：3,990 社（回収率：33.3%）

* 本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

<お問い合わせ先> 日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL03-3270-1687（担当：藤田、^{わけず}分須、深沼）
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー